

第1章 重力参照計の評価

??にて述べたように、本較正装置では重力参照計を用いて絶対角度を測定する。その要求性能としては

- 他の系統誤差の評価値を加味して、測定精度が $< 0.06^\circ$ であること
- 電源の入れ直しによるオフセット変動が小さいこと
- 観測サイトの環境 $-15^\circ\text{C} \sim 20^\circ\text{C}$ にて、温度変動による出力の変化が小さいこと

が挙げられる。これまでに使用が想定されていた Digi-Pas 社製の DWL5000-XY は要求性能を満たさなかったため、新たに候補となった Sherborne Sensors 社製の DSIC-2051-60 を評価した。本章では、はじめに新しい重力参照計について共有した後、評価手法と結果について述べる。

1.0.1 重力参照計の概要

図??に重力参照計の外観を示す。

1.1 電源の入れ直しによるオフセット変動の評価

1.1.1 評価系

1.1.2 測定結果

1.2 温度による出力の変化の評価

1.2.1 評価系の概要

1.2.2 測定結果

1.2.3 測定結果の考察

1.2.4 まとめ